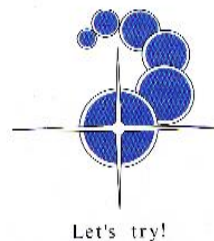


進路だより第1号

令和2年4月23日（木）



新型コロナウイルスによる影響で、休校が続いています。例年ならば学校に登校し、学んでいる時期に、現在は各家庭で自宅学習をするしかありません。学習はしっかりと行われているでしょうか。取り組む時間を決め、質を高めて、学力の向上を目指しましょう。

今回は村上中等教育学校の後期生の学習の仕方（問題演習の仕方と時間の使い方）について紹介します。何事もやってみることが重要です。今からでも遅くないので、しっかりと学習習慣を身につけてください。ここでの頑張りは大学合格への確かな一歩になります。

（文責 進路指導部長 増井）

《学習の仕方》

1 問題演習の仕方（解く力を鍛える）



見直しをしない問題演習は、効果が半分

「問題演習」は、「解く」ことに意識が向きがちです。しかし、それで終わりにしていませんか。一番大切なことは「見直す」こと、そして「わかるように」することです。答え合わせをして、どこを間違ったのかチェックする、間違いの原因を見極め、それにあつた対策を立てる。それこそが自分の力を伸ばすのです。つまり、「新しい知識が定着した」ことになります。自分の問題演習に、必ず「見直し」を取り入れましょう。



問題演習の効果をあげる3つの基本

① 時間を計る

普段から時間を意識することで、テストのときに、時間配分がうまくできるようになります。また、時間を決めて取り組むことで、集中力をつけることができます。

② 答え合わせで、間違いの傾向を知る

答え合わせは、単に解ける問題、解けない問題を確認するのではなく、自分の間違いの傾向を知ることが最も重要です。解けた問題も解説を読んで、解き方や考え方を確認しましょう。

③ 間違えた問題を解きなおす

間違えた問題は必ず解きなおして、「わかるように」することで実力をアップさせ

ましょう。そのためには、間違えた問題には必ず「チェック」を入れることです。持っている問題集や教科書を見てください。きれいな紙面のままになっている人はいないでしょうか？これでは自分の苦手がどこなのか、どこを解きなおせばよいのかわかりません。自分の問題集を「自分専用の問題集」にするためには、自分の間違えた問題にどんどんチェックを入れることです。

また、解答・解説を読んでも分からなかった問題は、教科書に戻って確認し、早めに先生に質問に行って、疑問点を解決しましょう。先生方は質問を待っています。自信のなかった問題には、あらかじめ印をつけておくのも有効です。それを重点的に復習することは、レベルアップにつながります。

- * 現在は学校に登校し、質問することができません。登校ができるようになったら、先生方に質問してください。



重点的に取り組む問題・タイプを見つけよう

テストの問題に答えられるように、同じ形式で練習をするのは、どの教科でも大切なことです。そこで間違えた問題を「うっかりミス」として片付けてしまう人がいますが、実は、ミスにはみなさんの学習法、得意不得意、心構えなどがよく現れています。だから、どんなミスをしやすいのかをつかんで、それを意識して問題を解くことが大切です。「理解不足」だったところは、確実に理解できるように丁寧に見直し、問題を解き直しましょう。解けたら時間をおいて、もう一度挑戦して、理解が定着したか、確認してから先に進みましょう。

- * ミスをしないための工夫

ミスだけを集めたノートを作る、丁寧に書く、問題文に印をつけながら読む

2 時間の使い方



時間の使い方を見直すことは、自分自身と向き合うこと

「一日がもっと長かったらいいのに」と考えたことはないでしょうか？例えば検定試験の前、「もっと時間があれば、全部覚えられたのに・・・」しかし実際は、どんなに時間に余裕がある人にも、忙しい人にも、与えられているのは平等な「24 時間」です。24 時間を有効に使うことは、これからの人生を豊かにします。きっと学力アップにもつながるはずです。自分の時間の使い方を見直してみましょう。



時間の使い方を見直す手順

まずは、自分の一日の生活の流れを書き出してみましよう。そのときには、「できるだけ正確に」書き出すことがポイントです。これをいいかげんにしてしまうと、せつかくの見直しの効果が薄れてしまいます。次に、うまく使えていない時間や、もっ

たいたい時間を数えることです。朝、学校での時間、昼休みの時間、放課後の時間、通学の時間、帰ってから夕食までの時間、夕食後の時間などに、すき間時間ができやすいのです。その使い方を考えてみましょう。

*休校期間中は、7時間目まで授業があると思って、午前、午後に分けて時間の学習の計画を立ててください。午前に3.5時間、昼食後から夕食前で4時間、夕食後に2.5時間やれば10時間です。時間の使い方を工夫し、1日合計10時間以上の学習時間を確保しましょう。



集中できる時間の使い方を考えよう

せっかく時間があっても、それを無駄にできてしまったりはもったいないです。自分にとって時間を有効に使うにはどうしたらよいか、考えてみましょう。

① 時間を決めて取り組む

「何時までにこれをやる」など具体的な計画を立てて、毎日取り組みましょう。

② すきま時間の利用の仕方を決める

暗記カードや単語帳などを活用する、帰宅直後はノートを見直し、その日にやらなくてはならないことを確認してから夕食を食べるなど学習しやすい時間を選びましょう。

③ 夜型から朝型学習へ転換

深夜まで学習すると、効率も悪く、次の日の集中力が続きません。朝の時間帯に1～2時間程度の学習時間を確保して、授業が始まる頃に、集中力が最大になるようにしましょう。



学習時間を確保する覚悟

学習時間の確保、学習計画の確実な実行のために、決めたことは絶対にやるという強い覚悟を持ちましょう。学習はかけた時間が重要です。



学習計画の改善

学習計画に無理がある場合や、不足している場合は、臨機応変に計画を見直しましょう。

目標達成のために、理解の遅れている部分を優先することや、定期考査や模擬試験で効果的に得点できる部分の強化など、学習計画改善のための戦略を練りましょう。